

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》北川 敏美（非）

【概 要】

学校教育における教育課程の意義・目的、学習指導要領の位置付け・内容などを学修したうえで、教育課程を編成・運営するために必要な知識としての基本原理、手順、カリキュラム・マネジメントなどについて学ぶ。さらに、いくつかの学校の事例分析や実際に教育課程の編成を行うことをとおして、教員として必要な実践力を学ぶ。

【学習目標】

学校教育における教育課程について、教員として必要な基礎的知識と実践的な力を身に付ける。

- (1) 学校教育における教育課程の役割・機能と、その意義を理解する。
- (2) 教育課程編成の基本原理と、その編成方法を理解する。
- (3) 学校教育課程の全体を把握し、マネジメントすることの意義を理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	教育課程の意義(1)	教育課程とは何か並びにその意義・目的を学ぶ。 (1) 公教育(2) 学校の教育活動の全体計画など	北川
2	教育課程の意義(2)	教育課程に関する法制を学ぶ。 (1) 教育基本法(2) 学校教育法(3) 学校教育法施行規則 (3) 学習指導要領(4) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律	北川
3	教育課程の意義(3)	学習指導要領とは何か並びにその変遷を学ぶ。(昭和23、26年度実施) (1) 学習指導要領の位置付け・内容(2) 昭和23、26年度実施の各学習指導要領の要点・社会的背景	北川
4	教育課程の意義(4)	学習指導要領の変遷と教育課程の役割・機能を学ぶ。 (昭和31年度実施以降) (1) 昭和31年度実施以降の各学習指導要領の要点・社会的背景	北川
5	教育課程の意義(5)	現行・次期学習指導要領の特徴並びに社会に果たす役割・機能を学ぶ。 (1) 生きる力、確かな学力、言語活動、道徳教育、キャリア教育など(2) 社会に開かれた教育課程、カリキュラム・マネジメント、アクティブラーニングなど	北川
6	教育課程編成の方法(1)	教育課程編成の基本原理並びに方針を学ぶ。 (1) 編成の主体(2) 編成の原則(3) 特色ある教育活動など	北川
7	教育課程編成の方法(2)	各教科・科目の履修を学ぶ。 (1) 標準単位数(2) 必履修教科・科目(3) 授業時数など	北川
8	教育課程編成の方法(3)	道徳教育、総合的な学習の時間、特別活動を学ぶ。 (1) 目標(2) 全体計画(3) 評価など	北川
9	教育課程編成の方法(4)	教育課程編成の手順を学ぶ。 (1) 事前の準備(基本方針、組織・日程、研究・調査) (2) 学校の教育目標(3) 編成など	北川
10	教育課程の運営(1)	カリキュラム・マネジメントの意義並びに重要性を学ぶ。 (1) 教科横断的な視点(2) PDCAサイクル(3) 人的・物的資源や外部資源の活用	北川
11	教育課程の運営(2)	教科・科目の年間指導計画並びに評価を学ぶ。 (1) 配慮すべき事項(2) 事例分析(3) 評価	北川
12	教育課程編成の実践(1)	タイプの異なるいくつかの学校の事例分析を行う。	北川

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
13	教育課程編成の実際(2)	モデル校の教育課程の編成作業を行う。	北川
14	教育課程編成の実際(3)	モデル校の教育課程を編成し発表・検討する。	北川
15	まとめ	教育課程編成に係る諸課題を整理する。	北川

【評価方法】

最終レポート50%、小レポート30%、授業参加状況（発言、学習の取組）20%

【備考】

教科書：文部科学省「高等学校学習指導要領」

参考書：文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総則編」（東山書房）
 文部科学省「生徒指導提要」（教育図書）
 広岡義之編著「新しい教育課程論」（ミネルヴァ書房）
 授業中に適宜参考書を紹介するとともに資料を配布する。

その他：(1)1回目の授業の際に全15回の授業の概要と評価の観点を説明する。
 (2)授業で学ぶ内容について自ら考え、授業の中でも積極的に意見交換すること。

【学習の準備】

- (1)予習：毎回の授業時の最後に次回の授業内容を予告するので、教科書の該当する範囲や関連する資料を読んで学ぶ内容を確認しておくこと。（80分）
- (2)復習：授業時に配布した資料並びに教科書、参考書を活用して学んだ内容を整理すること。（80分）
- (3)適宜授業時に小レポートを提示するので、期限までにレポートを作成して提出すること。
- (4)常日頃から教育改革の動向や教育問題について関心を持ち、必要に応じて報道記事などをスクラップやメモするように心掛けること。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教育の基礎的理解に関する科目」の「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）に該当する。

【実務経験】

高等学校教員

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校での教員としての実務経験を活かし、教育課程の事例分析や編成作業などの実践的教育を行う。